



**Sleep
Innovation
Platform®**

令和 7 年度 開催

第 3 回 Sleep Innovation Platform® 総会

開催レポート

2025 年 5 月 16 日（金）開催

於：日本橋高島屋三井ビルディング 日本橋ホール

開催概要

【日時】 2025 年 5 月 16 日（金） 13 時 00 分～16 時 00 分

【場所】 日本橋高島屋三井ビルディング 日本橋ホール

1. 開会宣言

Sleep Innovation Platform® 理事長／筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIIIS 機構長

柳沢 正史

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構



開会にあたり、Sleep Innovation Platform® 理事長 柳沢 正史よりご挨拶を承った。

「2022 年に 8 団体・企業からスタートし、本年も多くの新規加盟の申請があり、27 団体・企業が参画する大きな組織となりました。昨年 8 月の第 2 回総会から開始した各サブワーキンググループの活動においても、各リード企業、団体のご尽力で势力的に活動いただいています。

また、この度、医師の富田康弘氏を新理事として推薦しております。特に、ワーキンググループ 2-2 の活動として伊藤忠商事様の従業員を対象に行った健康経営施策では、睡眠時無呼吸症候群に着目した活動を行っていたが、このような活動を進める上では、臨床医療面の目を持った人がメンバーとして必須だと考えております。富田先生は、元々は循環器の医師ですが、キャリアの途中から睡眠時無呼吸症候群を専門とし、虎の門病院で現役の臨床医として活躍されています。未病や生活習慣など睡眠社会学的な側面まで広い視野を持っておられ、こういう方には是非加わっていただきたいと考え、推薦いたしました。」

2. 来賓挨拶 I

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長

橋本 泰輔 様

「ヘルスケア産業政策について～睡眠と PHR～」



3. 来賓挨拶 II

厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 主査

岩崎 もにか 様

「厚生労働省の睡眠対策について」



4. 総会決議

決議に先立ち、定足数の確認が行われた。

会則第 20 号により「総会は、代理出席、委任状を含め、正会員の過半数の出席をもって成立する」と規定している。

会場出席者数 ： 26 団体
委任状による出席者数： 1 団体
合計 ： 27 団体

5 月 16 日時点での正会員数 27 社/団体であるため、本総会は適法に成立していることを報告した。
尚、会則第 20 号の定めに基づき、出席者の過半数の同意をもって可決とする。

議事案 1. 令和 7 年度 役員選出の件

現会則上、役員の任期は 2 年となっており、昨年度をもって現状の役員は任期が満了となったため、本年度から 2 年間の役員選出について審議した。

昨年度までご担当いただいた役員の皆様に継続いただくことと、柳沢理事長からの推薦で富田康弘氏（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 睡眠呼吸器科医長）を新たな理事として迎え、理事の定員を 4 名に増員、監事 1 名を含めた合計 5 名を役員候補とした、組織体制を提案した。

当決議案は、賛成多数のため、可決した。

議事案 2,3. 令和 6 年度会計報告・決算、令和 7 年度予算案報告・承認の件

令和 6 年度の会計報告および令和 7 年度の予算報告について審議するために、各サブ WG の代表者から昨年度の活動報告と今後の活動方針の発表が行われた。

WG1

「ガイドライン整備事業」サブ WG



徳山 薫平

(筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIIS)

「ガイドライン標準化活動」サブ WG



野々村 琢人

(西川株式会社 日本睡眠科学研究所 所長)

WG 2

「睡眠と運動の連携サービス事業」サブ WG



一色 恭宏

(株式会社ティップネス 経営戦略部 部長)

「健康経営サポートを目的としたサービス開発」サブ WG



森下 みゆ

(西川株式会社 ソリューション推進部)

「快眠ハウスモデル事業推進」サブWG



宇於崎 涼介
(積水ハウス株式会社 総合住宅研究所)

「睡眠習慣による高齢者のライフスタイル再構築」
サブWG



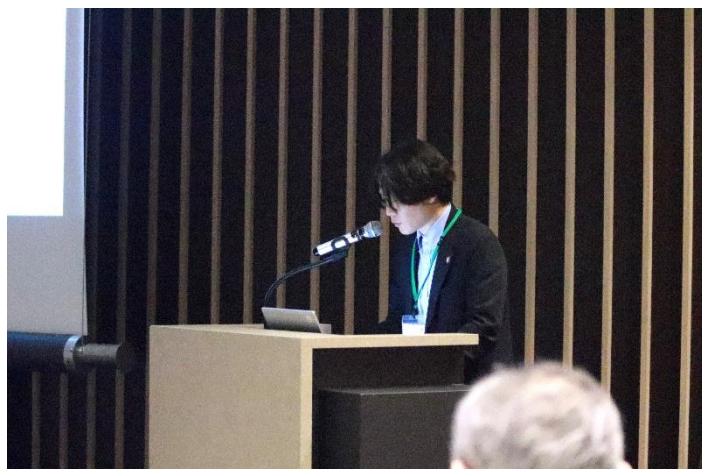
初雁 卓郎
(パラマウントベッド株式会社 経営企画本部
シニアマネージャー)

「女性の健康と睡眠課題解決」サブWG



菅 文美
(ユニ・チャーム株式会社 Global 開発本部
Life Time Value 共創部 Senior Research Scientist)

「子どもと若年世代の睡眠課題解決」サブWG



本井 良亮
(塩野義製薬株式会社 産官学連携部)

WG 3

「PHR 睡眠データ標準化推進」サブWG



野々村 琢人

(西川株式会社 日本睡眠科学研究所 所長)

各サブWGの活動報告と計画に伴い、事務局より令和6年度の会計報告と令和7年度予算案についての説明を行った。

当決議案は、賛成多数のため、可決した。

5. 理事会承認事項の共有

総会決議を受けて、総会休憩時間内に臨時理事会が開催された。

その場で承認された、令和7年度 Sleep Innovation Platform®の組織体制が発表された。

【役員】

- | | |
|---------------|--|
| 理事長（新任） | ： 富田 康弘（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 睡眠呼吸器科医長） |
| 最高顧問 兼 理事（再任） | ： 柳沢 正史（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIIS 機構長） |
| 理事（再任） | ： 渡部 光明（東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 東京中央支店長） |
| 理事（再任） | ： 西川 八一行（西川株式会社 代表取締役会長 CEO） |
| 監事（再任） | ： 垣見 俊之（伊藤忠商事株式会社 執行役員 人事・総務部長） |

【運営委員】

- (再任) 小久保 利雄 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IHIS ハイクラス・リサーチ・アドミニストレータ)
- (新任) 萩原 保 (株式会社アシックス ウェルビーイング推進部 部長)
- (再任) 森川 友也 (伊藤忠商事株式会社 人事・総務部 企画統轄室長)
- (新任) 大森 元気 (株式会社 S' UIMIN 代表取締役)
- (再任) 高橋 あずさ (東京海上日動火災保険株式会社 マーケット戦略部 企業戦略室 セクションチーフ)
- (新任) 藤ヶ森 仁 (西川株式会社 広域戦略事業部 統括執行役員)
- (再任) 須永 康資 (日本生命保険相互会社 ヘルスケア事業部 ヘルスケア事業企画担当部長)
- (再任) 初雁 卓郎 (パラマウントベッド株式会社 経営企画本部 シニアマネージャー)

【アドバイザリボードメンバー】

- (再任) 柳沢 正史 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IHIS 機構長・教授)
- (再任) 宮田 裕章 (慶應義塾大学 医学部教授)
- (再任) 西野 精治 (スタンフォード大学医学部精神科 教授 スタンフォード大学睡眠生体リズム研究所 (SCNL) 所長)
- (新任) 富田 康弘 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 睡眠呼吸器科医長)

【令和7年度 新規参画企業】

株式会社カネカ
キッセイコムテック株式会社
キャノン株式会社
株式会社 COSPA ウェルネス
株式会社 SOXAI
株式会社ワコール

6. 特別講演「循環器科医が考える睡眠医療・スリープヘルスのこれから」

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 睡眠呼吸器科医長

富田 康弘



講演に先立ち、新理事長に就任された富田理事長よりご挨拶を賜った。

「このたびは大変な大役を仰せつかりました。柳沢正史先生から臨床医の立場からぜひ関わっていただけないかとご相談をいただき、若輩者ではございますが、お引き受けさせていただきました。各サブワーキンググループの活動も私の興味と重なるものが非常に多いと感じております。

私は研修医の頃から長く虎の門病院に勤めております。睡眠医療に関わるようになったのは、研修医として呼吸器内科をローテーションしていた際に睡眠時無呼吸という病気に興味を持ったことがきっかけでした。後に循環器内科を専攻することになりますが、その後も外来診療や臨床研究を通じて長く睡眠医療に携わってまいりました。日本睡眠学会や日本循環器学会などの専門医資格を取得し、虎の門病院に勤めながら順天堂大学の社会人大学院生としてお世話になった際にも、睡眠医療と循環器内科の重なる領域を研究対象としていました。

日本専門医機構の専門医制度では、基本領域の上にサブスペシャリティ領域があり、私は基本領域として内科を、サブスペシャリティ領域として循環器内科を選択しました。日本睡眠学会も独自に専門医の認定を行っていますが、専門医制度のサブスペシャリティ領域には睡眠が含まれておらず、実際にはさまざまな専門領域から睡眠に興味を持つ医師が集まっている状況です。今後は、睡眠医療を広く見渡すことのできる医師の育成が課題となっています。先月末、日本睡眠学会の内村理事長が厚生労働省に「睡眠障害」を標榜診療科名に組み合わせる名称として提案しました。日本睡眠学会の認定施設は全国に広がっていますが、地域格差は依然として大きく、専門的な睡眠医療が届いていない地域もあります。このような課題を解決するため、私は遠隔医療の活用が重要だと考えています。遠隔医療の普及により、医療とヘルスケア領域の融合も進むことが期待されます。本日は自己紹介を兼ねて、私が日常的に取り組んでいる活動についてお話しさせていただきます。」

〔富田康弘新理事長 特別講演テーマ〕

- ・循環器疾患を予防するための生活習慣病管理
- ・睡眠医療が扱う疾患と今後の課題
- ・遠隔医療を活用したこれからのヘルスケアの形

7. 閉会

以上